



2階には専門書をはじめ、小説・新聞・雑誌、CD・DVDなどのほか、読みやすい大活字図書が用意されています。パソコンコーナーやスタディールームなどもあり、自分に合った楽しみ方ができます。3階には、子育て、料理、手芸などの関連本がそろい、一人用の閲覧ボックスも完備。開放的で温かみのあるつくりになっている絵本コーナーは子どもたちに大人気です。



通いたくなる
仕掛けがいっぱい

2017年4月、まなび広場にいみ内に開館した「まなびの森新見図書館（新見市立中央図書館）」。開館時間が午後8時までと長く、飲み物を片手にお気に入りのソファで読書をしたり、静かなスタディールームで学習したりするなど、多様なコーナーで自分に合った楽しみ方ができます。

授乳室やオムツ替えベッドも備えており、子どもから大人まで、それぞれが楽しさや憩いを感じながら過ごせる図書館として、多くの皆さんのまなびの場に利用されています。



文化施設 が集う 文人

新見文化交流館の大ホールにかかる緞帳は、平山郁夫画伯の作品「絲綢之路天空(しちゆうのみちてんくう)」をモチーフにしたもの。



まなび広場にいみ外観

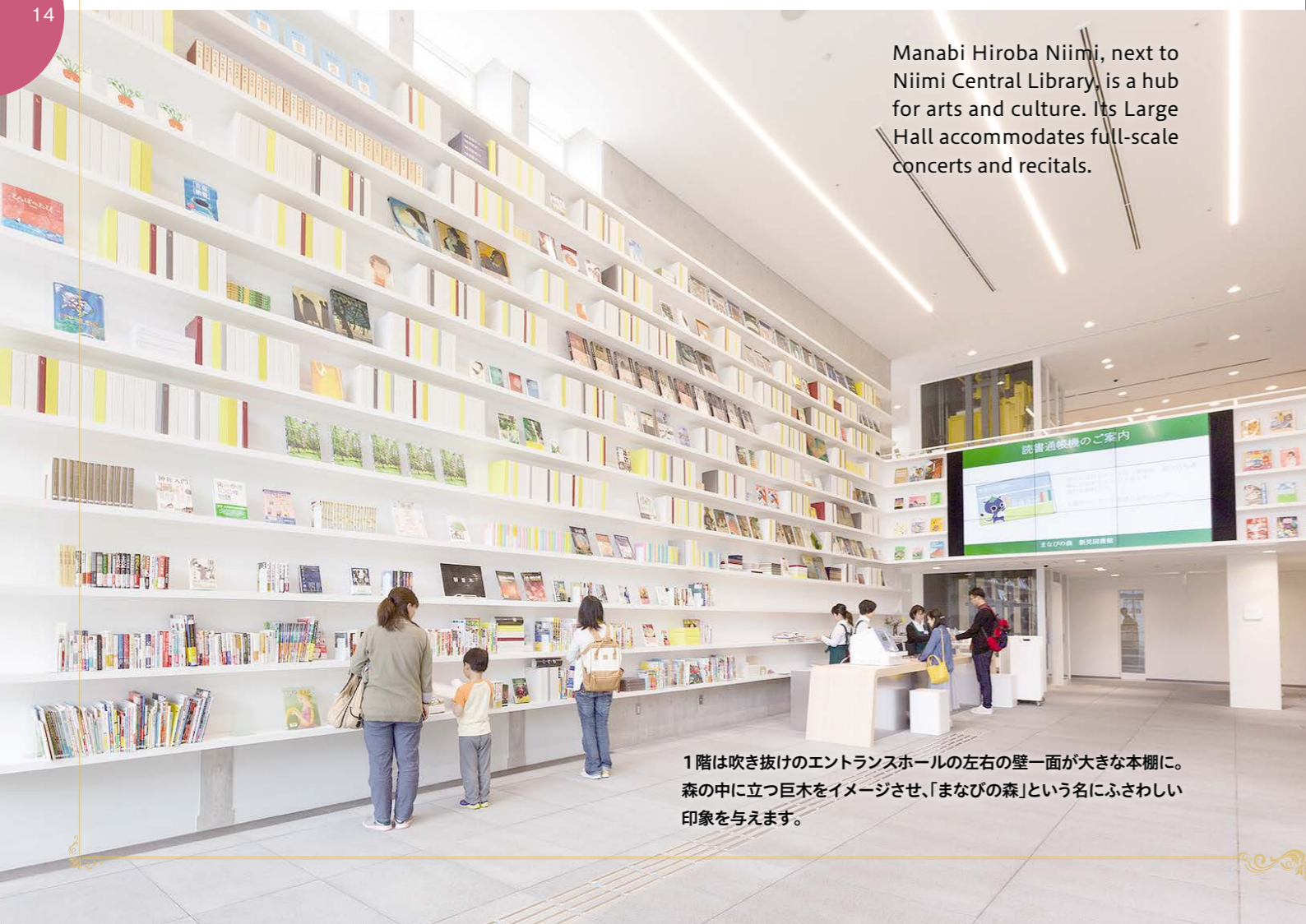
一流の施設 文化交流の場

「まなび広場にいみ」内には、芸術・文化の拠点として、バレエやクラシックコンサートなどを開くことができる「新見文化交流館」と、「まなびの森新見図書館（新見市立中央図書館）」を設置しています。

新見文化交流館の大ホールは音響効果に優れており、クラシック音楽の演奏会を主目的とした多機能ホールです。1階席が720席、2階席が219席、サイドバルコニー席が56席、車椅子席が6席（1階）で、合計1001席あります。舞台音響設備、舞台照明設備、映写室などの設備を備えており、催し物の規模に合わせて利用できます。楽屋や控室も完備されています。

小ホールは、昇降ステージの採用により、舞台形式だけでなく平土間としての使用が可能。定員300名で、コンサート、講演会・研修会・映写会などのほか、展示会や立食パーティーなどのさまざまな催し物に利用できます。

Manabi Hiroba Niimi, next to Niimi Central Library, is a hub for arts and culture. Its Large Hall accommodates full-scale concerts and recitals.



1階は吹き抜けのエントランスホールの左右の壁一面が大きな本棚に。森の中に立つ巨木をイメージさせ、「まなびの森」という名にふさわしい印象を与えます。